



おかげさまで 創立 60 周年

西尾ロータリー Weekly

第 2917 回例会 平成 30 年 3 月 20 日(火) 天気:曇 No.33

会長/ 柴田高広 幹事/ 犬塚宣明

クラブ会報委員 大内基浩 / 小笠原正秀 / 鳥山欽示

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾信用金庫本店1F 大会議室

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<http://www.nishio-rotary.org>

2017-18 年度テーマ



ロータリー:
変化をもたらす

【本日のプログラム】

司 会 齊藤 貢 例会運営委員長 斉唱 「我等の生業」

スピーカー (株)にじむすび 代表取締役 渡辺暁典氏 「コミュニケーションより学ぶ、重度障害者を支援する意味」

ビジター 〈西尾 KIRARARC〉 西三河分区ガバナー補佐 大高敏睦君 I.M 実行委員長 磯貝総一郎君 食事 松寿司

【会長挨拶】



セブンイレブンの看板をよく見られたことがありますでしょうか。いちばん最後の文字だけ小文字です。アメリカ資本の会社で、戦前からあった会社のようです。片田舎で氷屋さんをやっていた会社が、業務拡張で売る物を増やしていったってコンビニの原型を作られました。日本に入ってきてからはイトーヨーカ堂と組んで日本ではいちばん勢いのあるコンビニかなと思います。

さて、いちばん最後の文字だけ小文字なのは何故でしょうか。大文字ばかりですと少し堅い、優しさが欲しいということで創業者の奥さんのアイデアというのがひとつの説。もうひとつの説が、他に登録商標があったので小文字を使った。真意は定かではないです。3つの色が使われていて、オレンジは夜明けの色、緑は砂漠のオアシス、赤は夕焼けだそうです。実はセブン&アイホールディングスも「i」ひとつだけ小文字です。意味はイノベーション、愛、だそうです。

皆さんの会社もロゴをお持ちだと思います。こんな会社になりたい、だからこんなロゴを作るという場合もあります。私は、パッと見てその会社が想像できるロゴがいいのかなと思っています。近藤産興さんはいくつかある看板の中に逆さまのものがある、という方法もあります。新しく何かを変えたのであればロゴを変えてみるのもいいのかなと思いました。

【委員会報告】

〈出席委員会〉杉浦 広委員長

本日の出席数 56 名

3 月 6 日のメークアップ 16 名

訂正出席率 100%

食 事
「松寿司」



〈スマイルボックス委員会〉 三浦眞澄委員長

西三河分区ガバナー補佐 大高敏睦君 I.M 実行委員長 磯貝総一郎君、皆さんこんにちは。

今日は I M お礼のご挨拶に参りました。親クラブでもある西尾ロータリーさんのご協力に心より感謝しスマイルします。

柴田高広君 ①「頑張るものづくり企業 in 西尾」に認定して頂きました。②大高 G 補佐様、磯貝 IM 実行委員長様ようこそ。楽しい講演でした。③にじむすびの渡辺様よろしくお願ひします。

榊原勝俊様 大高 G 補佐、磯貝実行委員長ようこそ西尾 RC へ。その節は有難うございます。

大河内芳信君 大高 G 補佐、磯貝実行委員長、I M お疲れ様でした。本日はようこそ！

犬塚宣明君 日曜日にスキーに行って参りました。RCで北海道スキーに行ったおかげで青春を思い出しました。全身が痛いですが。にじむすびの渡辺様ようこそ西尾RCへ。

岩崎智一君 いつも有難うございます。今日はスピーカーの渡辺さんをご紹介させて頂きます。宜しくお願いします。

萩原竜治君 にじむすびの渡辺様ようこそ西尾RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

田中正規君 2610 地区富山のPETSで講演して来ました。日帰りで疲れました。

杉浦 広君 先日は親睦活動委員会の皆様のおかげで楽しい時間を過ごさせて頂きました。

浅岡直幸君 来週卓話を担当させて頂く浅岡

直幸です。テーマは「直幸伝」宜しくお願い致します。

山崎周彌君 柴田会長と、齋藤肇さんのおかげでカラオケを歌う事が出来ました。感謝です。

岩瀬正広君 斉藤貢さんがギターを弾いている。知らなかった!!今日の感動でした。

小澤育史君 今週の日曜日に釣りクラブでイサキ釣りに行きます。処分に困るほど釣れる事を祈っています。その場合はLINEでお知らせします。

相場久慶君 手前味噌ですが、最近の当支店の若手社員の成長は目覚ましく嬉しい限りです。感謝、感謝です。

〔卓話〕

(株)にじむすび 代表取締役 渡辺暁典氏

「コミュニケーションより学ぶ、重度障害者を支援する意味」



訪問介護・看護を提供している小さな会社で、重度障害者の方々を支援しています。重度障害者とはALSという病気の方々で、だんだん体が動かなくなっていって呼吸もできなくなり人工呼吸器を付けないと死んでしまうという病気です。介護施設に入ることも入院することもできません。発症からものすごいスピードで進行します。ホーキング博士もALSだったといわれています。

私の患者さんで、人工呼吸器を付けた後、このようなことを言うようになりました。「人の気持ちが手にとるようにわかるようになった、ALSも悪くない、患者ではなく生活者として社会の一員として生きて生きたい、多くの方々に感謝ができるようになった、病になって初めて気付くことができた」と言われています。

私は、スタッフにこのように言っています。「大好きな人の失敗は患者さんは許してくれる、だけど大嫌いな人の素晴らしい提案は触っても欲しくない、だからあなた自身が大好きな人になってもらえるようにしなさい。どうしていいかわからなかったら、自分から患者さんのことを大好きになりなさい」。重度の方々というのはこのあたりがものすごく鋭いんです。

障害者施設で殺人事件がありましたが、障害者を健常者が支えていくという意味を考えるようになりました。重度障害者を支えるには、ひと月あたり100万ではききません。彼らの生きる理由は何だろうか。私たちは生産性やお金のことだけを追求していいのだろうか。死ぬ瞬間にお金を持っていくことはできない、会社も持っていけない。でも、私が重度障害者の方々を必死に支援したこと、その想いは持っていけるのではないか、と思うようになりました。本当の豊かさとは何だろうか、ということを重度障害者の方々から学ぶことができました。同じ「命」です。重度障害者も我々も何も変わりがないということを感じました。

ありがとうございました。

〈次回卓話のお知らせ〉	3月20日(火)	食事：きく寿司	西尾信用金庫 本店
会員卓話 浅岡直幸君	西の町ポリ(株)	代表取締役社長	「直幸伝」